

様式1（学校用）

部活動における新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	課程／学部	校長名
東京都立篠崎高等学校	全日制普通科	齋藤 直子

1 学校の基本方針

感染症対策を講じ、生徒の安全を最優先にした上で、校長の責任の下、部活動を実施する。ただし、身体接触等を伴う練習及び練習試合等については控える。（全国大会につながる大会や練習試等は管理職の判断のもと行う。）特に、運動部活動における室内での活動及び文化部活動における演劇、合唱、吹奏楽等の飛沫感染の可能性がある活動については、必ず常時換気を行い、生徒を小グループに分けたり適切な距離をとって練習したりするなど、密集した状態とならないよう工夫するとともに、短時間で活動する。

2 活動場所における感染症対策

- ・更衣室や部室、屋内の活動場所は、必ず常時換気を行い、生徒を小グループに分けて短時間で利用することとし、密集した状態とならないよう工夫する。
- ・体育館の換気は、ドア・窓を2方向に常時開放する。
- ・部活動実施前後の更衣において、部室や更衣室といった換気が十分に行われない場所には、サーキュレーターやCO2測定器を配置し、換気を徹底する。
- ・校舎内及び体育館等に設置している冷水器から直接飲むことは避け、コップや水筒等を使用する。
- ・大会等の参加に伴い、やむを得ず食事を摂る場面では、換気、生徒同士の席の間隔の確保、黙食を徹底する。

3 活動前後の感染症対策

- ・部活動実施前後の更衣時には、必ずマスクを着用し、密集を避けるとともに、会話は控える。また、部活動終了後は速やかに帰宅する。
- ・用具は使用前後に消毒するとともに、ボールを扱う競技を実施する場合には、触球後には適宜アルコールによる手指消毒を行う。
- ・部活動の前後における手洗いを必ず行う。手洗いができない場合は、アルコールによる手指消毒を行う。
- ・部活動を行う前には、顧問等による健康観察はもとより、生徒に自らの体調管理を確実に実施するよう指導する。（少しでも具合の悪い生徒は登校させない。）

4 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ・部長会を開き、各部活の部長が中心となって感染対策に取り組むように呼びかける。
- ・生徒会が感染防止ポスター等を制作し、感染防止を呼びかける。
- ・各部活が毎活動のミーティング等で、感染防止のための注意事項の確認を行う。

※ 各学校の実態等に合わせ、様式を適宜変更してください。